

1.
2.
3.
4.
5.

わあ主わな
がめよぎに
みつなわも
をちがいの
主はみはも
の変^かむわか
手わねれみ
にりをにの
ゆくわおつ

だずれぞよ
— に —
ねれ^な成いき
まゆし来み
つくたる手
れとまとよ
ばもえもり
わ主ちみわ
れのかかれ
とみらみを

このはと
しとかわこ
なばぎれし
えにりをえ
にぞにばに
主たみまう
のだこもば
— — —
うたとりい
ちよばたあ
にりにまた

あゆたえわ
りかん
たばず
いとたわこ
かきだれの
なわ主な良^よ
るにおき
ちかあよや
かわいろく
ららすこそ

もぬる
ばんく
わみわみた
れこれちが
をとをちえ
主^きばとのざ
のはこある
手わしたか
よれえうみ

りをにるを
はま主あい
なもはいか
ちるしゆのに
あいくしぞ
たわしるた
わなたした
— — —
ずりもうをえん

だれが、キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か、苦悩か、迫害か、飢えか、裸か、危難か、剣か。わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。

ローマ 8 : 35, 37